

授業科目	*老年看護学概論				実務家教員担当科目	○					
単位	1	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	溝部 昌子										
授業概要	<p>老年看護の対象としての高齢者の生物学的な老化と主観的意味を理解することを主眼とし、高齢者の生活実態、環境、施策、仕組みなどの基礎的事項を学ぶ。老年看護学は、生物医学の科学的根拠に依拠するだけでなく、社会の変化、人々の価値観、それぞれの文化的指向により変化するもので、将来にわたって老年看護で役割を果たしうる基本的態度を養うことが求められる。</p> <p>実務家教員として高齢者看護・介護の実務経験のある教員が、実践における知識や理論の活用例を概説する。最終的には学生自身が老年看護における役割を見出すことを目指す。</p>										
授業形態	講義	授業方法	グループディスカッション、プレゼンテーション、オンデマンド講義								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>老年看護の対象として高齢者を捉える視点が限られており、主観的な存在あるいは生物医学的な事実への理解が十分でない部分がある。健康障害や保健医療と暮らし、環境、習慣、制度、文化の関係性についての基礎知識があり、対象個々が豊かな生を送るための老年看護の役割と老年看護の技術との関連については理解している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 様々な資料から世界の高齢化や日本の長寿社会について理解することができる (DP1-2)</li> <li>2. 加齢性の心身変化が高齢者の暮らしや健康に及ぼす影響を説明できる (DP1-2)</li> <li>3. 高齢者を取り巻く環境、制度、支援を理解できる (DP1-2)</li> <li>4. 高齢者の権利を脅かす事柄、老年看護における倫理課題について検討できる (DP2-1, 4-1)</li> <li>5. 高齢者の安全な暮らしについて検討できる (DP2-1, 4-2)</li> <li>6. 高齢者の健康増進、社会参加について理解できる (DP1-2, 2-1)</li> </ol>										
理想的レベル	<p>老年看護の対象としての高齢者を生物学的存在としてだけでなく、その考え、行動、暮らし、他者とのかかわりなどから多面的に捉えることができる。健康障害や保健医療と暮らし、環境、習慣、制度、文化の関係性についての知識が豊富で、対象個々が豊かな生を送るための老年看護の役割を担うことを指向し、老年看護の技術を習得するための準備状態が整う。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合 (数値)				備考						
試験	35%										
小テスト	30%										
レポート	30%										
発表 (口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他	05%										
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU21323J
学習課題 (予習・復習)										1回の学習目安 (時間)	
・提示された資料、書籍、Web サイト、文献や、関連情報を広く探索する										4	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の生き方や人生観、死生観及び環境の多様性、様々な仕組みや取り組みについて関心をもつ</li> <li>・ 社会における老年看護の意義について検討する</li> </ul>	
<b>授業計画</b>	
第 1 回	<p>1. 長寿社会、高齢者の理解</p> <p>世界の高齢化、平均寿命と健康寿命、死亡率・死因、死亡場所          発達段階、サクセスフル・エイジング          高齢者の健康状態アセスメント、CGA、ICF、QOL          担当：溝部昌子</p>
第 2 回	<p>2. 加齢性の心身変化、高齢者の健康課題</p> <p>加齢に伴う心身の変化          老年症候群、フレイル、サルコペニア、運動機能の低下、低栄養          担当：溝部昌子</p>
第 3 回	<p>3. 高齢者をとりまく社会、暮らしの変化、社会参加</p> <p>世帯、収入、仕事、生きがい、虚弱高齢者、要介護高齢者          サクセスフルエイジング、プロダクティブエイジング          担当：溝部昌子</p>
第 4 回	<p>4. 高齢者の安全な暮らし</p> <p>転倒後症候群、熱中症、窒息、溺水          高齢者の暮らしに潜む危険、KYT、災害と高齢者          レポート①：祖父母の住宅に潜む危険マップの制作          担当：溝部昌子</p>
第 5 回	<p>5. 高齢者の健康増進①</p> <p>転倒予防、フレイル予防、認知症予防、サルコペニア予防、介護予防          担当：溝部昌子</p>
第 6 回	<p>6. 高齢者の健康増進②【演習】</p> <p>高齢者の生活機能評価、健康増進活動の実践          レポート②：高齢者体験装具装着下での生活機能評価と、健康増進計画を立案し実践          担当：溝部昌子</p>
第 7 回	<p>7. 高齢者看護の基本、看護理論</p> <p>高齢者の特性、高齢者のフィジカルアセスメント          老化学説、心理的特性、エンパワメント、ストレングスモデル、ナラティブアプローチ、コンフォート理論          担当：溝部昌子</p>
第 8 回	<p>8. 高齢者看護における倫理</p> <p>高齢者虐待、Daily Ethics          レポート③：倫理課題に対するディスカッションの記録          担当：溝部昌子</p>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 MC メディカ出版</li> <li>・ ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護⑥ 眼耳鼻咽喉歯口腔皮膚 MC メディカ出版</li> </ul>

<p>参考図書・教材 ／データベース・雑誌等の紹介</p>	<p>図書館指定図書に、高齢者に関する書籍が多数配架されていますので、興味のあるもの、読みやすいものからどんどん利用してください 高齢者、認知症、高齢社会に関する映画、ドラマ、TV番組などの映像資料も活用して、様々な立場や意見に触れてください</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト 2回 30% Google formでの正答数がわかります</li> <li>・レポート 3回 30% それぞれ A-B-C3 段階評価で返却します</li> </ul>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢性の心身変化を理解することが、老年看護学の基盤となるため、特に看護形態機能学・疾病論は復習が必要です</li> <li>・老年看護学の基礎的事項については、記憶が必要です。</li> <li>・将来にわたって対象となる高齢者との向き合い方、課題解決の方法の原則について学ぶ科目ですから、様々な情報に触れ、発想を豊かにし、発展的に学ぶ姿勢で臨みましょう。</li> </ul>

